

議事要旨

件名	第四回 伊豆大島土砂災害対策検討委員会	日時	平成26年3月11日（火） 13:30～16:00
		場所	第一本庁舎 33 階 特別会議室S6会議室
先方	出席名簿一覧の通り		
1. 検討内容 （1）報告事項 （2）前回検討委員会の討議概要 （3）伊豆大島土砂災害対策検討委員会報告書（案）の内容			
2. 説明概要 ○ 土砂災害の発生状況について ① 土砂災害の全体評価を整理 （要因からみた土砂災害の特徴、崩壊と土砂流出の特徴、土砂災害の主因、土砂災害対策の課題） ○ 伊豆大島火山砂防計画の基本方針について ① 伊豆大島における火山砂防計画の方向性を再確認。 ② 元町地区における今後のハード対策の考え方について、大金沢周辺を優先的に検討することを再確認。 ○ 今後の土砂災害対策の概要 ① 土砂災害対策を実施する場合に、土地利用や復興計画など関連性の高い事業等との調整課題を整理することを説明。 ② 大金沢の今後の土砂災害対策スケジュール（案）について、ソフト対策の実施期間の再整理結果を説明。 ③ 計画基準点より下流の対策について説明。 ○ ハード対策 ① 発生区間、流下区間、堆積区間、下流域での土砂・流木の処理方針、施設配置方針について再確認。 ② 施設配置計画案について、事務局推薦案を提示。 ○ ソフト対策 ① 「警戒避難体制の整備」「監視体制の強化」「防災意識の向上」について、それぞれの実施項目の再整理結果、各実施項目の概要を説明。			

3. 主な意見

議事（１）報告事項

- 大島町より復興計画についての報告
- 大島支庁より応急対策についての報告

議事（２）前回検討委員会の議事概要について

- 今後の土砂災害対策では、今後調査を実施して、委員の意見を伺いつつ対策を進めていけばよい。

議事（３）伊豆大島土砂災害対策検討委員会報告書（案）の内容について

1）大金沢における今後の土砂災害対策（ハード対策）

- 施設配置第 3 案の左支川中流の導流堤はかなり急勾配地点に配置することになり事例がないため、対策実施にあたっては慎重に検討してもらいたい。
- 施設配置案について、実際に対策を進める段階では環境や生物多様性にも留意すべきである。

2）大金沢における今後の土砂災害対策（ソフト対策）

- 基準雨量について、火山地質であることや、地表面の条件が変わり、また今後は施設を配置することになるため、これらの条件に配慮して基準雨量を決めていく必要があると思われる。
- ハザードマップ等を関係機関に配布するだけでは認知率が低く実行性がない。住民へのフィードバックが可能な場を作るなどする必要があり、大島町とも協議して表現を考える必要がある。
- ハード対策で対象とした規模以上の降雨があった場合、ハード対策だけでは防災上の限界があることを考慮して、ソフト対策を組み込んでいくことが重要である。
- 島内では、ハード対策を行わない限り、ソフト対策だけでは不十分である箇所もあることを認識してもらいたい。
- 今回のような土砂災害が一過性のイベントであるという意識から、日常的な知識に持っていくことが重要である。

—以上—